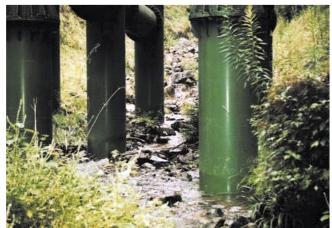
透過型の効果 生態系の保全・環境保全

格子形鋼製砂防えん堤







坊の奥川砂防えん堤 鋼製部高10.5m、鋼製部幅8.8m、水通し幅11m(74.1トン)平成6年[兵庫県]

4. 鋼製砂防構造物の効果事例





上の沢第4砂防えん堤 鋼製部高10.5m、全幅62m、鋼製部幅10m、水通し幅12m(121.4トン) 平成7年[飯豊山系砂防工事事務所]

格子形構造





周辺部の植生も回復し、渓流魚の生息も見られるようになった 平成11年撮影

小六郎沢えん堤 鋼製部高12m、全幅58m、 鋼製部幅23.8m、水通し幅13.2m(149.2トン) 昭和55年[新庄工事事務所]



鹿狩川砂防えん堤 鋼製部高8m、全幅51m、鋼製部幅16.8m、水通し幅20m(105トン) 平成6年[福岡県]



渓流魚が生息する河床部



上流域に荒廃が見られ土石流危険渓流に指定されている



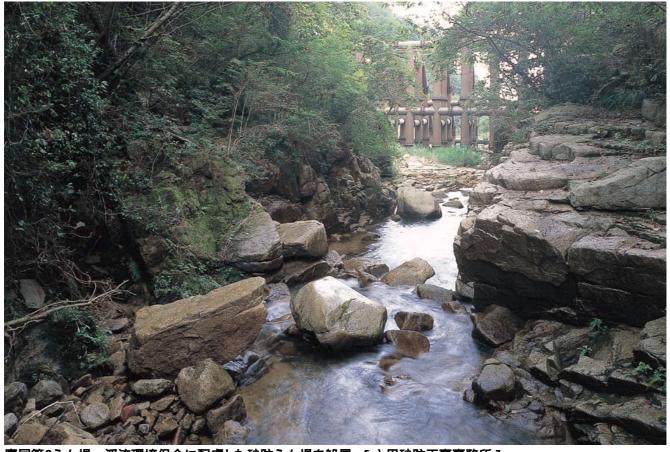
百合谷川に設置した曲線を有する最下流タイプの砂防えん堤 鋼製部高8m、全幅48m、鋼製部幅8m、水通し幅11m(72.8トン) 平成10年[和歌山県]



下流域の保全対象となる集落と田畑



鋼製部高10.5m、全幅35m、鋼製部幅16.8m、水通し幅20m(186.8トン) 平成5年



鷹尾第2えん堤 渓流環境保全に配慮した砂防えん堤を設置 [六甲砂防工事事務所]



公園内では自然を学び体験できるゾーンが設置され、環境にも配慮された格子形鋼製砂防えん堤で 保全対策が行われている



直下流域には基幹道路と住宅街が集合しているため、 最下流タイプ格子形が設置された

古瀬沢砂防えん堤 鋼製部高8m、全幅62m、鋼製部幅11.2m、水通し幅 13m(118.8トン) 平成11年[奈良県]

鋼製スリットえん堤A型



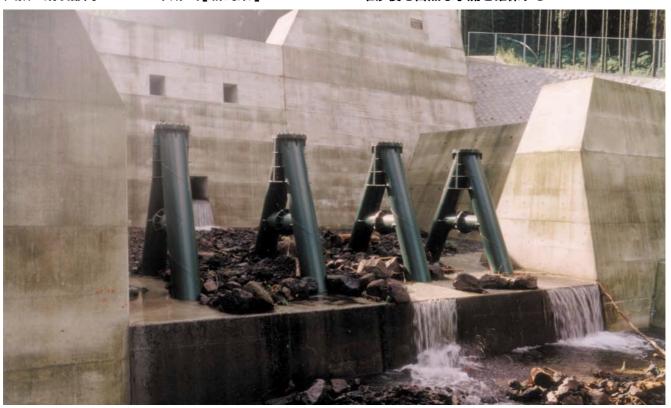
三峰川 鋼製部高3m 昭和62年[長野県]



大猿 鋼製部高3m·2m 平成3年[群馬県]



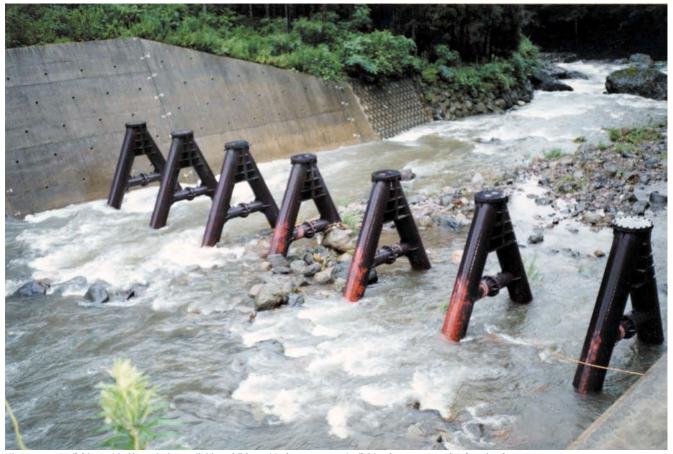
堆砂後も自然な水流を確保する



塩井川 鋼製部高3m スリットの間を小さな碟が流れている 平成3年[熊本県]



北里川 自然の流れを阻害しない、土砂の堆積は自然の流れによる 鋼製部高4m 平成5年[熊本県]



北里川 鋼製部の塗装面変色は礫等の捕捉、衝突による 鋼製部高4m 平成5年[熊本県]

鋼製スリットえん堤B型



滑川 鋼製部高6m 平成12年[多治見工事事務所]



鋼製部高5m 平成5年[大分県]

鋼製L型スリットえん堤



基礎部にコンクリートを打設しない鋼製L型スリットえん堤は、河床を構造物設置以前の状態に復元できる。また、前庭部の護床工として現場発生の巨石を敷き並べることにより、河道の連続性、自然景観を創出できる。



運上川 上流側 鋼製部高8m、全高10m 平成11年度[長野県]

鋼製D型スリット

基礎コンクリートの一部に溝を設け澪筋を 固定することにより、簡単に魚道を確保する ことができる。



殿川 鋼製部高3m 平成11年度[岐阜県]

清水谷川 澪筋固定で魚道を確保 鋼製部高3m 平成11年度 倉吉工事事務所]



清水谷川 鋼製部高3m[倉吉工事事務所]

鋼製h型スリット



鳥居川流木止工 鋼製部高4m、鋼製部幅22.5m、水通し幅25.7m(358トン) 平成9年[長野県]



宮谷川3号流木止工 鋼製部高3m、鋼製部幅24m、水通し幅25m(21.2トン) 平成11年[奈良県]